

小学校

s 1-1

10までの数

1 学年

【ねらい】

ものの個数を数えることなどの活動を通して、10までの数の意味について理解する。

【特徴】

- ◇ 数を表している具体物(絵)とブロック、数の切り替えができ、それぞれ相互の関係の理解が図れます。
- ◇ 具体物と数字の対応については、2種類の画面から選べます。

【関連する単元】

- ◇ 小学1年「2位数の表し方」



【活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証

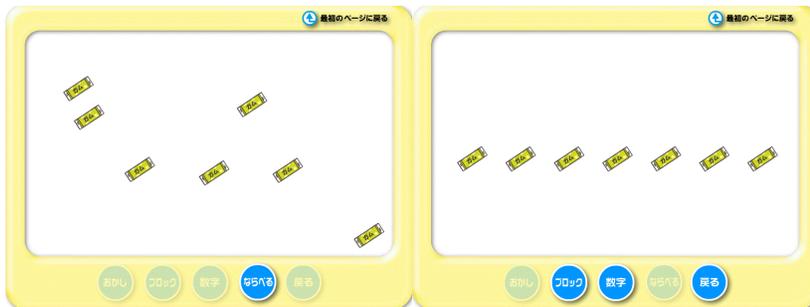


日常生活の中の具体と数と関連付けながら、より深い数の意味理解を図ります

選んだ絵だけを抽出した表示ができ、並べて表示したり一般化した表示を切り替えたりすることができるため、具体と数の関係を関連付けながら学習を進めることができます。

- ◇ 日常生活の中から、数えられるものについて話し合います。
- ◇ 表示されているものの中から、“一番少ないと思うものはどれだと思いますか”“一番多いものは…”など、ねらいに応じた発問をし、数える必要性を感じさせながら学習を進めます。

※ このとき、幾つぐらいに見えたかという、見当をつけます。



具体と数の関係を関連付けながら学習を進め、図と数を関連付けながら考察する児童の育成を図ります

- ◇ ばらばらに表示された絵を、数えやすくするための方法を考えさせます。
- ◇ 具体物を提示できない場合、身近なもので表現する方法を考えさせます。
- ◇ 一般化した上で、数を表示します。

